

景気動向調査 令和5年12月分（令和5年12月末現在）

大分県中小企業団体中央会では、県内中小企業の現況、課題を迅速にとらえ、これらの情報を行政等へ提供するとともに、本会事業の活用に資することを目的に、中小企業団体情報連絡員事業を実施しています。

この事業では、県内の主要業種46組合に「情報連絡員」を設置し、毎月の景況調査報告(前年同月比)を収集しています。

【12月の景況】

12月のDIは、9指標のうち、6指標が好転、2指標が悪化、1指標が変わらずという結果となった。主要3指標は、いずれも好転。先月と比較して、売上高DIは13ポイント好転、収益状況DIが7ポイント好転、景況感DIが2.2ポイント好転という状況となっている。

なお、景況感DIは令和5年6月以降、7カ月ぶりの好転である。

また、販売価格DIは35ポイントと、依然として高い水準を維持している。



景況感DI値

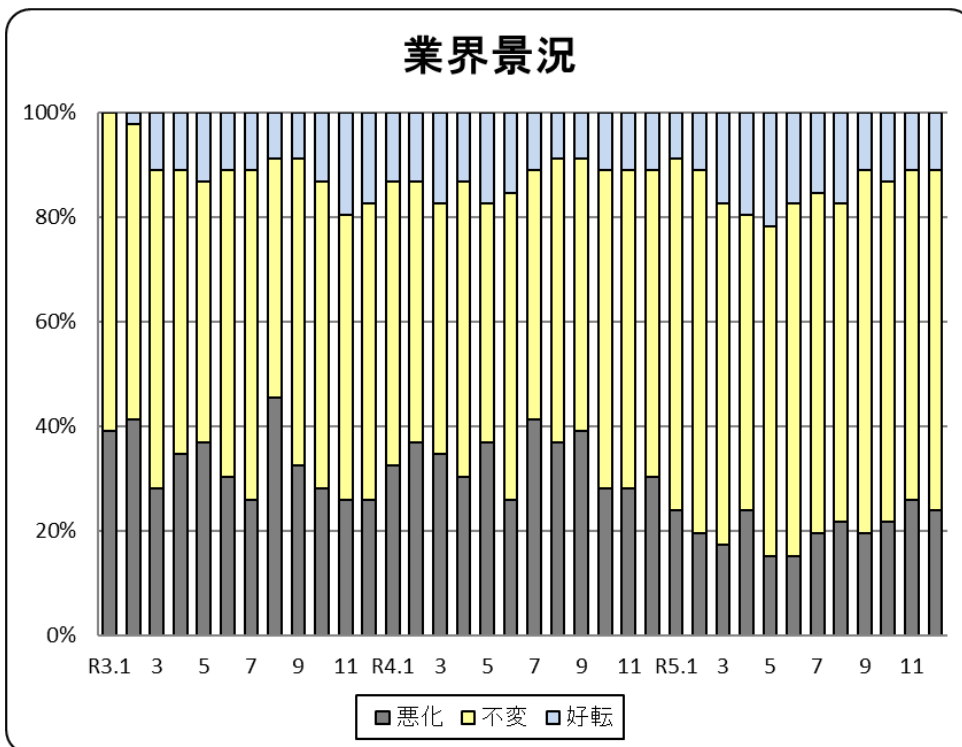


参考：日本銀行「企業短期経済観測調査」（大分支店調査分）

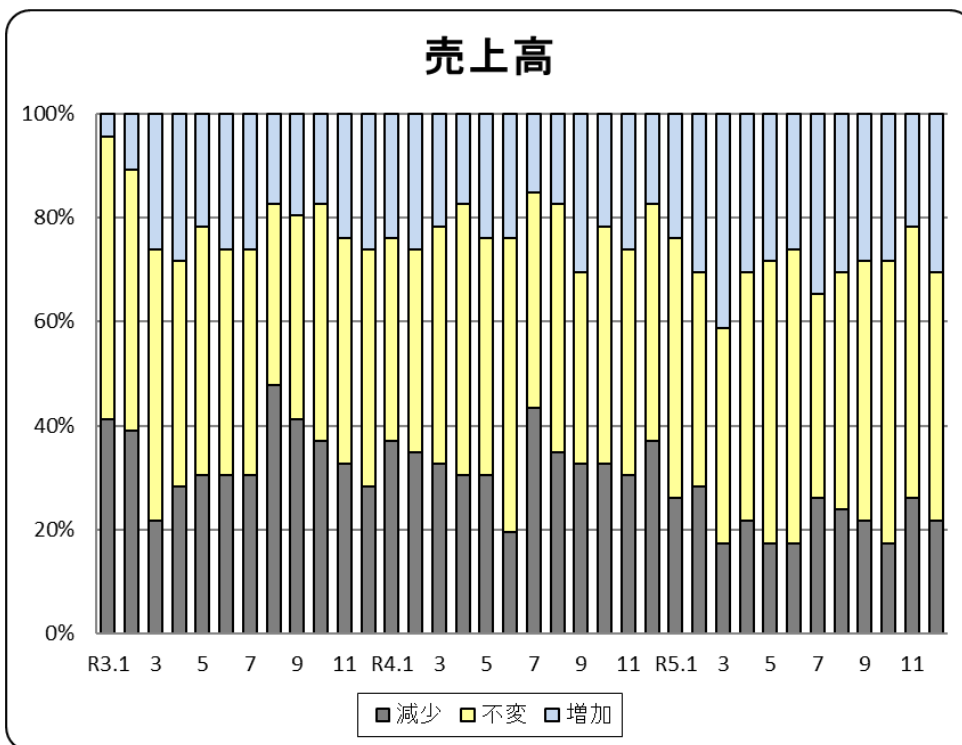
【主な調査項目での動向】

主要な調査項目を見ていくと、景況感DIは、△13.0ポイントで前月から2.2ポイント好転。売上高DI値は、+9ポイントで前月より13ポイント増加。収益状況DI値は、△13ポイントで前月から7ポイント好転。雇用人員DI値は、△15ポイントで前月より5ポイント増加という結果となった。

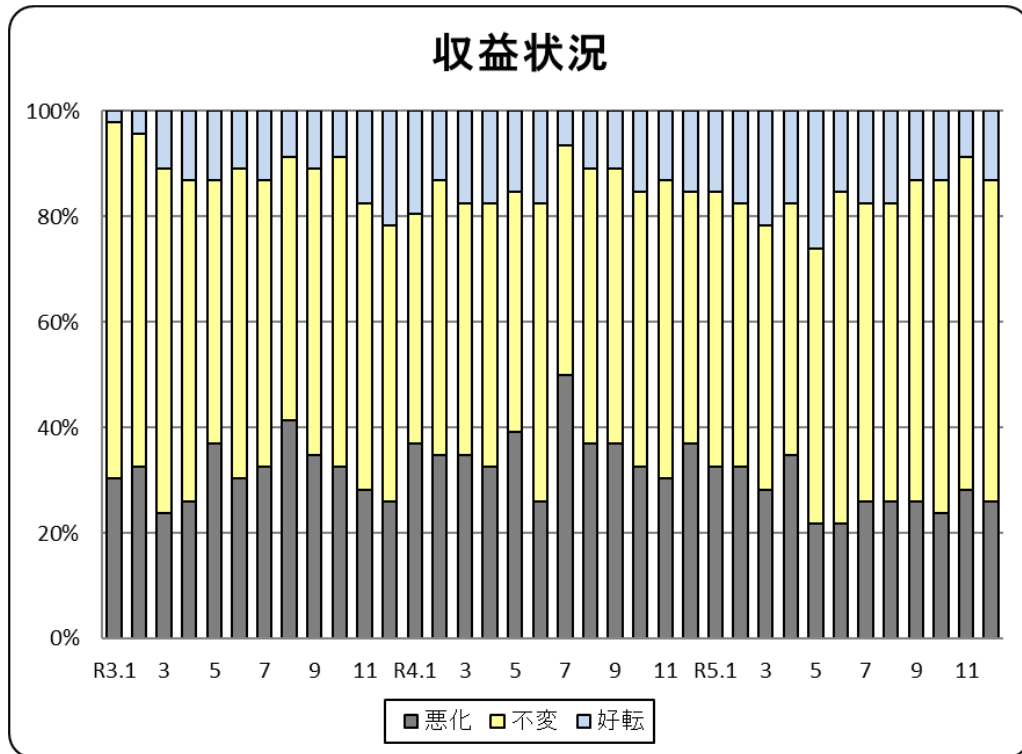
景況の動向は、好転は5組合、悪化は11組合であった。DI値は△13.0ポイントで前月から2.2ポイント好転。割合で見ると、好転11%、不変65%、悪化24%であった。なお、製造業の景況感DI値は△24ポイント、非製造業の景況感DI値は△7ポイントであった。



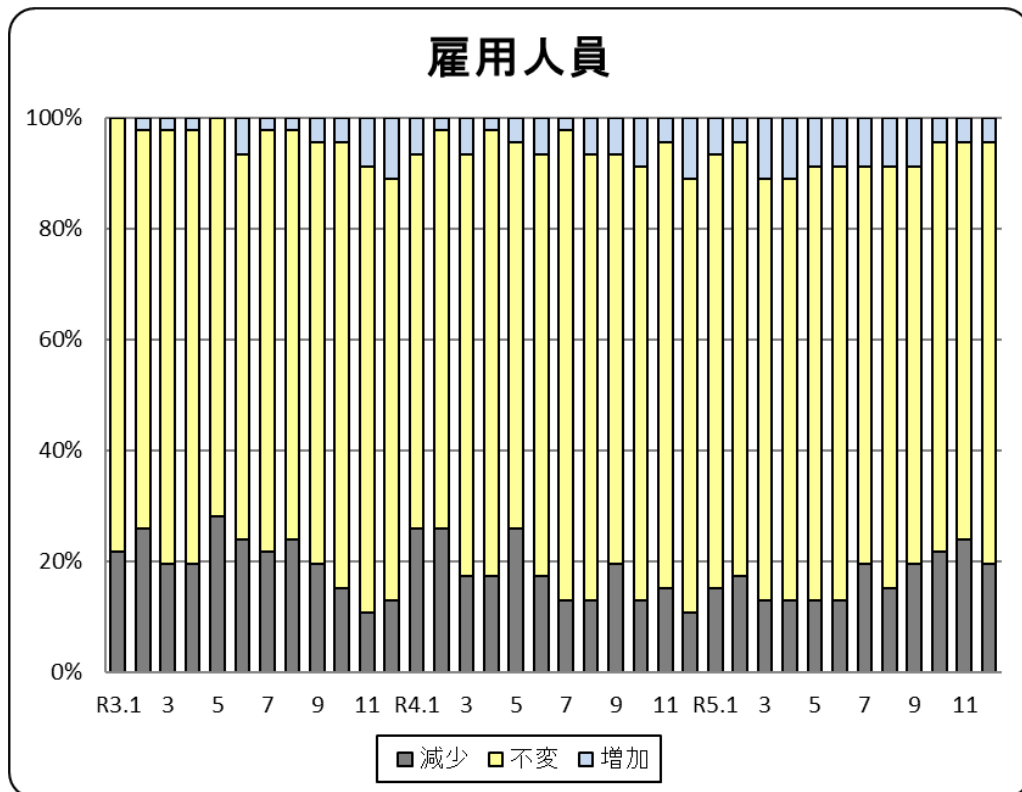
売上高の動向は、増加は14組合、減少は10組合であり、DI値は+9ポイントで前月から13ポイント増加。割合で見ると、増加30%、不変48%、減少22%であった。



収益状況の動向は、好転した組合は6組合、悪化と回答した組合は12組合であった。DI値は△13ポイントで前月から7ポイント好転。割合で見ると、好転13%、不変61%、悪化26%であった。



雇用人員の動向は、増加は2組合、減少は9組合であった。DI値は△15ポイントと先月より5ポイント増加。割合で見ると、増加4%、不変76%、減少20%であった。なお、製造業の雇用人員 DI 値は△6ポイント、非製造業の雇用人員 DI 値は△21ポイントであった。



(集計方法)

※DI 値(前年同月比)=[(増加・好転組合数－減少・悪化組合数)／調査対象組合]×100

(業界の景況についての項目を「好転」割合から「悪化」割合を引いた値をもとに作成します。)

※小数点以下四捨五入

主要3指標の前年同月比DI推移【大分県】

